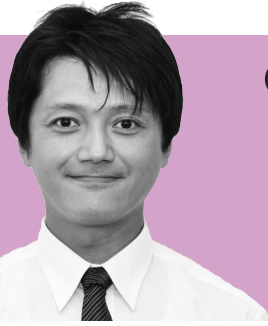


新風会・公明
松本聖司郎議員



○ ジオアリーナの利用について

その他の質問

- ・食育の現状について
- ・獣害・雪害に対する森林管理について

問 多数の方からジオアリーナの利用についての

と考える。

お話があった。周年行事などをアリーナで行おうとしたら、床にシートを引いても中では飲食ができないため、開く事を断念したという話が大半であった。このようにイベントが開きにくいという状況下にあると考えるが、市としてはどのように考えているのか。また、障害者の方の利用について盲導犬・介助犬の場合の対応はどのようにされているのか伺う。

スポーツ以外の大会を開催することは、様々な分野での大会なども奨励している。団体などから相談や情報提供があった場合には、前向きに対応していきたい。

答 アリーナでの飲食ができないためイベントを開催するのが困難ということについては、市内に大規模なイベントを開催できる施設が限られていることを考慮し、飲食を伴うイベントでの利用についても検討しているが、施設の快適さや清潔さを維持するため、養生シートを敷くことや火気取扱、清掃など一定の条件を設けて利用に供したい

障害者の方が盲導犬や介助犬を同伴した場合の対応について、日本盲導犬協会に確認したところ、盲導犬の衛生面での世話をすることは所有者に義務付けられており、床が傷つかないように事前に盲導犬の爪を切っておく、足を拭いて入るなどの措置を盲導犬の所有者に依頼してもよいとのことであった。

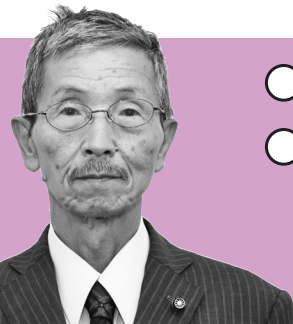
以前、盲導犬同伴の問合せがあった際にも、そのような対応をお願いしたところであり、今後も引き続き同様の対応をさせていただき、障害者の方々にも気持ちよく体育施設を利用していただけよう努める。

○ 高校生までの子ども医療費無料化について ○ 食品添加物(農薬)などの接種による市民の健康の危険性について

その他の質問

- ・国民健康保険税の引き下げについて
- ・獣害と自然環境について

日本共産党
久保幸治議員



問 観光や箱物に何億という大金を使うことよりも、子育てや教育など、市民の暮らし生活に直結する予算を増やすべき。

し続ける危険性については、あまり情報として知らされていない。私たちが日々摂取している添加物の量は、1日約11g、年間では約4kgにもなる。

高校生までの医療費の無料化の実現は、高校生本人の健康と保護者の負担軽減に必ず繋がります。早期に実現することで、勝山市の移住・定住の促進など市のアピール効果も大きくなる。施策の市民目線の優先順位と費用対効果を考慮すれば、費用経費などの予算840万円の捻出は十分にできると考えるが、市長の見解を伺う。

勝山市消費者センターにおいて、食品表示を見ることが大切さを、消費者学習会などで啓発している。また、食の安全・安心に関する情報提供や相談などは、健康教室などを通じ、栄養バランスのよい食事の必要性を伝えていく。今後、自分の身体の健康のために、食の選択や量について知識の普及啓発に取り組んでいく。

答 福井県の市町への医療費助成が中学生まで拡充されることを前提に、勝山市としても令和2年度から高校生までの医療費無料化を前向きに検討していく。

問 現代の食生活の中で多く使用される食品添加物を、長期に渡って摂取